

縁木

三世代家族が集う、 団縁の家

低炭素

適正室温の保持による 居心地の良さ

家の中心となるリビングは、祖父母から子どもまで家族一同が座れる空間にして、足をのびせる掘りこたつ式を組み込みました。キッチンもリビングと対面にして皆が向きあう形に。落ち着いた和風の内装に杉の板を張り巡らせたのですが、床が驚くほど柔らかく素足で歩くと気持ちいいです。屋根はご提案して頂いた耐熱性が高く雨風に強いガルバリウム鋼板にしました。それに合わせて外壁は青色を選びました。そして何よりも低炭素建築物認定制度を取り入れたので、とにかく室内どこにいても温度があまり変わりません。さらに短時間の冷暖房で適性室温が長く続くことを実感させてくれます。省エネ効果は目に見えてわかり、光熱費は以前住んでいたところから比べてだんぜん安くなりました。夏涼しく冬暖かい体への優しさ、杉の香りによる心への癒し、家族団縁の心地良さに満ちています。

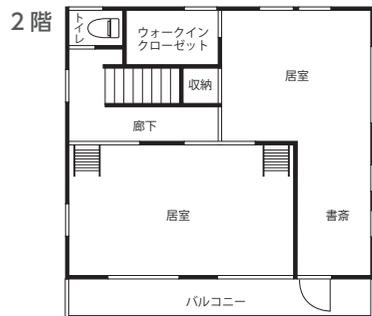
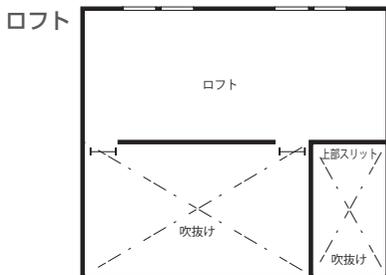
人にも自然にも 優しい構造

今までは良い物を作っても数値に表れなかったので、制度による目に見える評価というのとはとてもいいです。低炭素建築物認定制度は省エネに直結しますから、お客様にも見える化としてその効果ははっきりわかります。

特にN様邸は全館空調にしたので、家全体の室温は急激な変化がなく、人にとって絶えず住み易い環境になっています。その構造はそのまま低炭素に繋がります。それは自然環境にとっても良い結果に繋がっています。これから全館空調をご希望なされるお客様には、低炭素建築物認定制度をぜひともお勧めしようと考えています。



竹駒工務店
黒羽さん



随所にある隠れ収納
階段下や和室の段差を使って収納場所を確保しているので、リビングを広く有効活用できます。

単位住宅の
設計一次エネルギー
消費量

- 暖房設備
- 冷房設備
- 換気設備
- 照明設備
- 給湯設備
- その他

の一次エネルギー消費量

太陽光発電による再生
可能エネルギー導入量等

〈計算イメージ〉

ポイント
低炭素建築物認定制度の設計一次エネルギー消費量は次の計算で求められています。

神奈川県・木造・N様邸
家族構成…夫婦+子ども1人